



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2008年4月25日号 No.46

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

◆ 区議団で、愛知県へ視察に行ってきました ◆

**「法にのれる人はいいが、法のハザマにいる人へ
 どう手を伸ばせるか…地域福祉に求められるもの」**

区議団は22・23日、愛知県の高浜市・犬山市視察に行きました。

私にとっては初めての視察、正式に他の自治体を訪ねて見聞きすることは、客観的に自分たちの行政のあり方と比べられ、駆け足でまわりましたが有意義な時間でした。

【初日、高浜市編】

人口4万人余、市の面積も文京区より少し大きいしかし県下では小さな自治体です。「三州瓦」が有名なだけあって市内はまさに「瓦（いっか）の波」。

「この町は小さな自治体ならでは狭さをメリットに生かして、「法のサマ」にいる人にどう手を伸ばせるか」を考え

福祉でまちづくり」を追求しています。

感心したのは「人づくり」。市がホームヘルパーを養成しその方々にボランティアグループとして、宅老所や福祉行政の手伝いをしてもらっています。また、「地域福祉」に力を入れ、高齢者への給食サービスも、粘り強く話し合いながら、市内の商店に宅配のサービスをボランティア精神を生かして取り組んでいます。福祉の施策も「住民自身でつくる」ことをなにより大事にしています。

高浜市から名鉄「JR」を乗り継いで「宿泊地の犬山へ。

…次号につづきます。

高浜市担当課長さん



まんだち日記

19日 夜、町会の役員会に参加。来月の総会に向けて話し合いました。二十数名の方々がきつちり時間どおりに集まるのもさすがです。

20日 午後から数人で地域の対話活動に。後期高齢者医療制度については訪問先ではだれもが心配し、怒っています。「選挙で自民党を選ぶからこうなるのよ」と周りに話しています。そんな対話に励まされました。この日は3人の方に日曜版読者になっていただきました。

21日 お昼休み、久々に「サントク」前で女性後援会のみなさんとの宣伝、署名。30分ほどでしたが買い物客、通行人にアピールができました。「あらっ？萬立さん？」と顔見知りの方も声をかけてくださり、やっぱり定例の宣伝は大事です。



高浜市の昨年オープンした障害者訓練施設。来たくても通所できない方が多く、施設の運営そのものが大変だそうです。

栗原茂さん、長年ご苦労様でした

昨年11月に亡くなった「栗原茂さんを偲ぶつどい」が18日に開かれ、230人余の方々が参加しました。にこやかに笑う栗原さんの遺影を囲み、親交のあった多くの方が栗さんを偲び挨拶をされました。

公私ともどもお世話になった栗原さん。病床にあってもいつも前向きでした。党の前進を願い、周りに気を使い、そして文京をこよなく愛した方でした。5年前の私の最初の選挙のときも「悪かったな…」と言われたことが、今も鮮明に思い起こします。いつも区民のために、を考えて頑張ってきた栗原さんに一歩でも近づくために、自分も精いっぱい働かなくてはとの思いを強くしています。

